

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

【研究課題名】 化学療法と免疫チェックポイント阻害薬の併用療法後に再発した小細胞肺癌に対するアムルビシン単剤療法の観察研究

【研究機関名】 東邦大学医療センター大森病院

【研究責任者】 呼吸器内科 職位・氏名 シニアレジデント・吉澤 孝浩

【研究の目的】

東邦大学医療センター大森病院 呼吸器内科では、実臨床における化学療法(chemotherapy; chemo)と免疫チェックポイント阻害薬(immune-checkpoint inhibitor ; ICI)併用療法後の再発小細胞肺癌に対する、2 次治療におけるアムルビシン(AMR)単剤療法の効果および安全性に関して検討することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、再発小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害剤後の化学療法の効果および安全性を証明することにつながります。

【研究対象および方法】

この研究は、(東邦大学医療センター大森病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

【対象者】：2019 年 8 月～2022 年 12 月までに東邦大学医療センター大森病院

呼吸器内科において、小細胞肺癌と診断され、2019 年 7 月以降に初回治療として化学療法と免疫チェックポイント阻害薬の併用療法が開始され、その後 2 次治療としてアムルビシン(AMR)単剤療法が導入された方。

【方法】：診療録(カルテ)からデータを抽出します。

【研究に用いられる試料・情報】

研究対象者について、下記の臨床情報を診療録(カルテ)から抽出します。

年齢、性別、Performance Status、喫煙歴、既往歴、病期、血液データ、画像所見、病理結果、前治療歴、治療効果、毒性

【外部への試料・情報の提供】

調査票に記載した上記情報情報を、あなたの個人情報が分からないように管理します。

【研究組織】

代表施設名：大阪赤十字病院 研究代表医師：植松慎矢

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはできません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 呼吸器内科

職位・氏名:シニアレジデント・吉澤 孝浩

電話:03-3762-4151 内線:77297